

学校部活動から地域クラブ活動へ

～ 部活動地域移行推進計画《佐野モデル》に基づく学校部活動の地域移行 ～

令和 6 年 9 月 佐野市教育委員会

佐野市において令和 3 年度から始まった学校部活動を地域に移行する取組は、今年度で 4 年目を迎えました。今年 3 月には、国のガイドラインや県の方針及び本市のこれまでの実践成果を踏まえ、佐野市部活動地域移行推進協議会における検討を経て「部活動地域移行推進計画《佐野モデル》」が策定されました。今後はこの計画に基づき、学校部活動の地域移行をさらに推進していくことになります。

そこで本号では、改めて 学校部活動地域移行の背景、《佐野モデル》の概要についてご説明いたします。

【学校部活動地域移行の背景】

なぜ、学校部活動の地域移行が必要？

学校部活動は様々な教育的意義を有しています

生徒の自主的・自発的な参加により行われる学校部活動は、生徒のスポーツ・文化芸術等に親しむ機会を確保するとともに、自主的で多様な学びの場として、様々な教育的意義を有し、学校教育において大きな役割を担ってきました。

例えば、達成感の獲得、責任感・連帯感及び自主性の育成にも寄与しています。

また、人間関係づくりや自己肯定感を高めたり、問題行動を抑えたりすることにも貢献しています。

しかし、部活動は持続可能性という面で厳しさが増しています

深刻な少子化の進行や生徒・保護者の価値観の多様化などにより、持続可能性という面で厳しさが増しています。

例えば、生徒が希望する部活動に参加できなかつたり、部員が集まらず大会への出場だけでなく日頃の練習も十分にできない部活動があります。

また、学校部活動は教員には大きな業務負担となっています

休日も含めた指導など、部活動は教員の献身的な勤務によって支えられており、教員には大きな業務負担となっている実態もあります。

例えば、競技・活動経験のない教員が指導せざるを得ない場合があること、休日も含めた部活動の指導、大会への引率や運営への参画が求められることなど。



そこで、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保し、併せて、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上させるため、部活動の地域への移行(学校部活動から地域クラブ活動への移行)が必要なのです。

【《佐野モデル》の概要】

今年3月に国・県から示されたガイドライン・指針及び本市のこれまでの実践成果を踏まえ、佐野市部活動地域移行推進協議会の検討を経て策定された「部活動地域移行推進計画《佐野モデル》」の概要※について説明します。

※佐野市立学校部活動地域移行通信 No.5(令和6年1月)で紹介した案とほぼ同じ内容です。

部活動地域移行推進計画《佐野モデル》

1 《佐野モデル》の目標

【基本目標】

学校と地域との連携・協働により、生徒が主体的に多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境を整備します。

【活動目標】

令和8(2026)年度の本格実施を目指し、佐野市立中学校・義務教育学校（後期課程）のすべての部活動について、休日の活動の半分を地域クラブ活動に移行します。

そしてまずは、喫緊の課題解決のために以下のことを目指します。

■生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会の確保を目指します。

少子化のため廃部や休部、活動の縮小等の影響を受けずに、スポーツ活動・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保します。

■教員の長時間労働の解消を目指します。

部活動指導に係る教員の負担を軽減し、本来の教職員としての業務へ専念できるようにして、学校教育の質の向上にも資する学校における働き方改革を推進します。

さらに、今後の学校部活動の完全な地域移行を見据え、以下のことを目指します。

■部活動の地域移行を核とした地域スポーツ活動・地域文化芸術活動の更なる推進を目指します。

ミドル・シニア世代を巻き込んだ学校部活動の地域移行を通して、地域のスポーツ・文化芸術活動を活性化させ、あらゆる世代の市民がスポーツ・文化芸術活動を暮らしに取り込み、豊かで文化的かつ健康的な生活を充実させます。

2 《佐野モデル》の特色

○地域移行の対象は、市内全校・全部活動

休日に活動するすべての学校部活動が対象です。

○休日の活動の半分を地域クラブ活動に移行

学校部活動と地域クラブ活動を併存させながら、生徒の活動機会を保障していきます。また、地域クラブ活動を運営団体と学校が密に連携を図り、方針や状況を共有し、適切な生徒理解の下に活動します。

○単独校実施型、合同実施型、全校一斉実施型を組み合わせた効果的な運用

各校部活動の設置状況を踏まえ、部活動ごとに、1校単独での活動、複数校合同での活動、全校合同の活動を選択し、効果的な活動ができるようにします。

○地域クラブ活動の運営は、市内の関係団体等に委託

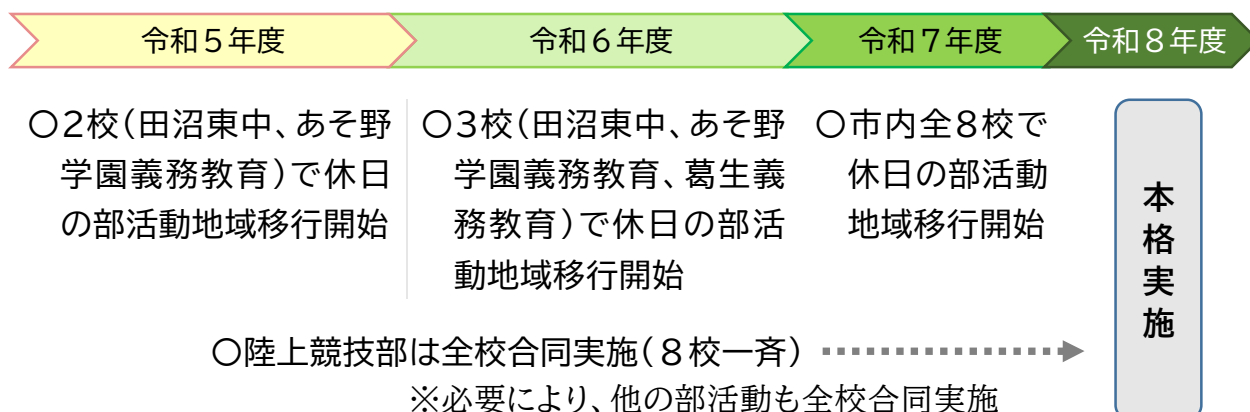
これまで学校部活動で担ってきた生徒のスポーツ・文化芸術の機会を地域で支えていくという視点から、地域クラブ活動の指導は地域の皆様をお願いします。

3 《佐野モデル》の計画期間・段階的な地域移行のスケジュール

《佐野モデル》の計画期間は、国(スポーツ庁・文化庁のガイドライン)で定めた革推進期間に合わせ令和7年度までとした。

この期間中に取り組むことは、休日の部活動の段階的な地域移行であり、令和7年度中には、市内全中学校・義務教育学校の休日に活動する全部活動を対象に、活動の半分を地域クラブ活動に移行します。

←……………(国の改革推進期間 = 《佐野モデル》の計画期間)……………→



詳しくは佐野市のホームページでご確認ください

<https://www.city.sano.lg.jp/soshikiichiran/kyouiku/kyoikusomuka/gyomuannai/plan/BukatsudouChiikiikouSuishinnKeikakuSanoModel/23781.html>



【地域クラブ活動についてもう少し説明します】

改めて地域クラブ活動とは？

「地域クラブ活動」について確認します。

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域の連携・協働により、生徒のスポーツ・文化芸術活動の場として、新たに整備するのが地域クラブ活動です。

地域クラブ活動は、学校の教育課程外の活動として、社会教育法上の「社会教育」の一環として捉えることができ、また、スポーツ基本法や文化芸術基本法上の「スポーツ」「文化芸術」として位置付けられるものです。したがって、地域クラブ活動は、学校と連携し、学校部活動の教育的意義を継承・発展しつつ、スポーツ・文化芸術の振興の観点からも充実を図ることが重要となります。

※スポーツ庁・文化庁「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」(令和4年12月)から引用



地域クラブ活動 をもう少し具体的に説明すると・・・

地域クラブ活動は、放課後や休日に教職員の指導の下で活動している学校部活動に替わる※1 新たな生徒の活動の場です。※1「代わる」ではなく「替わる」です。

地域クラブ活動の運営は、学校以外の団体が担いますが、学校部活動とは綿密に連携を図ります。また、地域クラブ活動を行う環境の整備は県及び市町が担います。

このような点において、地域クラブ活動は、既存のクラブチームや営利を目的とする民間のスポーツ教室、書道・絵画・ピアノ教室等とは異なる活動です。

《佐野モデル》に基づき休日の部活動の段階的な地域クラブ活動への移行を進めている現段階（令和6年度）は、以下のような内容となっています。

○中学校(義務教育学校後期課程を含む)の部活動が、休日の半分は地域クラブ活動として活動します。(月2回程度は学校部活動ではなく、地域クラブ活動として活動します。)

例) 平日と休日の半分：A中卓球部として活動、指導者は先生

休日の半分：A中卓球地域クラブとして活動、指導者は地域の方々

○複数の学校が合同で実施する場合があります。

陸上競技は清酒開華スタジアム(佐野市運動公園陸上競技場)で市内全8校合同で活動しています。また、今年度実施している3校(田沼東中学校、あそ野学園義務教育学校、葛生義務教育学校)の多くの地域クラブ活動は合同で活動しています。

複数校の生徒が合同で活動する場合があることから、活動場所は学校部活動と異なる場合があります。

○地域クラブ活動の運営と指導は特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブが担います。

現在、本市の地域クラブ活動は、市内の総合型地域スポーツクラブである特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ(以下、TAC)が運営しています。

各地域クラブ活動の指導も、TACの指導員※2の皆さんです。

※2 TACの指導員の他に、TACが新たに人選した方、関係学校から推薦していただいた方などもありますが、全員TACの指導員として指導します。

○スケジュール(P3「3《佐野モデル》の計画期間・段階的な地域移行のスケジュール」)のとおり、来年度(令和7年度)には、市内全校で実施します。

《佐野モデル》の計画最終年度である来年度には、市内全校で実施しますが、これがゴールではありません。生徒・保護者の皆様、教職員の皆様、そして関係するスポーツ・文化芸術団体の皆様からご意見を伺いながら、佐野市部活動地域移行推進協議会において協議を重ね、より一層の地域移行を進める考えです。

皆様には、ご理解とご協力の程、よろしくお願いします。

本市の部活動地域移行について、佐野市ホームページにも情報が掲載されています。部活動地域移行の進捗状況などの情報を随時掲載していきます。

<https://www.city.sano.lg.jp/soshikiichiran/kyouiku/kyoikusomuka/gyomuannai/education/22156.html>

